



平田 公

HIRATA ISAO

1967年 柏崎市出身
2017年 マッサージ・はり・きゅう治療室
「あんまにあ」開業

市内駅前、前畑医院の1Fにある『マッサージ・はり・きゅう治療室 あんまにあ』は、国家資格を持つ平田公さんが2年前に始めた治療院。

平田さんは柏崎市出身。大学を卒業し内装材やインテリア商品を扱う専門商社に就職し仙台に勤務。28歳でUターンして実家の表具店で父や兄を支え、内装工事に従事していた。

ところが36歳の時、眼の見え方に違和感があり病院を受診したところ緑内障と診断された。手術を受けたが2回目の手術で見え方が悪くなり仕事も思うようにはできなくなった。元々、視力が良いほうではなかったという平田さんが緑内障で視野が欠けてくるという不安や喪失感を考えると思わず私も言葉を失ってしまった。

そんな時、平田さんの人生とこれからの行く末を考え、妻が盲学校への進学を提案してくれた。最初は気が進まなかった平田さんが将来のことを考えて頑張ってみようと思った。

平田さんが進学した新潟県立新潟盲学校専攻科理療科は「あん摩・マッサージ・指圧師」「はり師」「きゅう師」の国家資格取得を目指す視覚障がい者のための養成課程。高等学校卒業以上の学歴の方が入学可能

で専門科目を3年間学習して卒業すると、国家試験受験資格を得ることができる。

40歳を過ぎてからの学校入学は大変だった。授業は、解剖学や公衆衛生、臨床医学、病理学、東洋医学、経営学など科目も多岐にわたる。「途中で見えなくなった全盲の人たちは点字も覚えられないから大変。自分は少し見えるからまだよかった」という平田さん。入学してからの3年間は、月曜から金曜まで寄宿舎に泊まって学び、週末家に帰るという生活。多くの人たちに支えられ、たくさんの人達に出会い、学び、様々な経験を重ねて無事に卒業することができた。

「学校に通っている時に妻がいつの間にか社会福祉士の資格を取っちゃって」と笑顔で話す平田さん。それを聞いてどうしても国家試験に合格しなければと奮起した。

努力の甲斐あって、あん摩・マッサージ・指圧師、はり師、きゅう師、すべての国家試験に見事合格。その後は経験を積むために市内のマッサージ店に勤め、2年前によく『あんまにあ』を開業した。

人には自然治癒力という体の不調を治していく力が備わっている。「この力を高めるお手伝いをするのが私たちの仕事」と平田さん。「マッサージの触圧刺激や鍼の機械的刺激、お灸の温熱刺激によって筋緊張が緩和したり血流の改善が図られ、自然治癒力が高まる」と続ける。

町のあん摩さんにちょっと揉んでもらう、そんなふうに気軽に立ち寄ってみたいという平田さんは笑顔を向けた。



お問い合わせ

マッサージ・はり・きゅう治療室 あんまにあ
柏崎市駅前2-2-3
TEL 090-8256-7041
営業 9時～18時(月曜～19時まで、土曜～15時まで)
休 木曜・日曜・祝日
<http://www.anmania.net>